令和８年度第１回北海道議会定例会〔予特・農政部審査〕　開催状況

開催年月日　令和８年３月１３日（金）
質　問　者　日本共産党　　真下　紀子委員
答　弁　者　農政部長　　鈴木　賢一
　　競馬事業室長　　庄司　好明
　　競馬事業室参事　増田　治己

質　　問　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
二　競馬事業等について **（一）競馬事業決算の推移等について** 2024（Ｒ６）年度、北海道地方競馬特別会計の決算見込みは当初計画を上回り、収支は 40 億円余の黒字となっています。そこで 2020（Ｒ２）年度と 2024（Ｒ６）年度の収支及び発売額の対比、発売額増加の要因、収益の使途についてお聞きをします。	**（競馬事業室参事）** 発売額の状況などについてでありますが、ホッカイドウ競馬の発売額は、令和２年度の 520 億 4,500 万円から、６年度は 543 億 6,600 万円と 23 億２千万円の増、また、単年度収支は、令和２年度の 31 億 600 万円から６年度は 40 億 9,200 万円と９億９千万円の増となっております。 発売額が増加した主な要因としましては、発売額の９割以上を占めているネットによる売上が伸びたことによるものであり、SNS を活用した公式 YouTube チャンネルでの情報発信や、ほかの競馬主催者とのイベントの連携強化などが成果となって現れたものと考えております。 また、収益金の使途は、きゅう舎などの施設整備に充てる北海道地方競馬事業経営安定基金に積立てますとともに、これまでの借入金の返済のために、一般会計に繰り出しを行っております。
（二）借入金の返済について 一般会計の繰り出しですが、競馬事業開始から 290 億円になっています。2013（H25）年度以降は単年度収支が黒字化していて、販売額は 2020（Ｒ２）年度から 500 億円の大台を確保しています。それでも、借入残高は 2024（Ｒ６）年度末 190 億円となっており、競馬法に定める地方財政の改善を図ることに反する事態が解消されていないと言えます。 返済計画、返済の見通しをどのように持ち、地方財政の改善にどのように貢献するのか伺います。 道財政を心配するあまり馬券を売れ売れと言っているわけではないですから。社会的影響があるので、そこの所は誤解のないようお願いします	**（競馬事業室長）** 借入金の返済についてでありますが、過去に販売額の低迷などにより競馬事業の収支が悪化した時期に、事業の継続を図るため、一般会計から借入を行ってきたものでありますが、現在、借入金の残高は令和６年度末で約 190 億円となっており、毎年度の競馬事業の収支状況を踏まえながら、計画的な償還に努めているところでございます。 ホッカイドウ競馬では、昭和２３年の事業開始から平成３年までの間に、益金として約 290 億円を道の一般会計に繰り出してきたところでございますが、今後とも安定的な競馬事業の運営に努め、借入金の着実な償還を進めるとともに、一般会計への繰出しなどを通じて、道財政にも寄与してまいります。
（三）インターネットの馬券発売実績の推移について 入場者数は、27 万６千人までに減っていますが、発売額のほうは増えています。発売方法ごとの構成について、改めてお聞きします。 単に馬券を買うだけではなく、リアルで見ていただきたいです。その方が地域振興に資すると思うので、そういう努力をしていただきたいです。	**（競馬事業室参事）** 馬券の発売構成についてでありますが、ホッカイドウ競馬における馬券の発売構成は、令和２年度以降、インターネットでの発売が９割を超えている一方、門別競馬場や場外発売所における現金での発売は、おおむね１割程度となっており、必ずしも、入場者数の増減と発売額の動向は、一致しておりません。

質　　問　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
（四）公営ギャンブルの公益性に関する認識について ホッカイドウ競馬の役割は、全国で唯一の「馬産地競馬」として、日本最大の馬産地における馬の改良増殖、その他の畜産振興と地方財政への寄与ということになっています。今更言うまでもなく、刑法で禁止されている賭博の例外とされ、その存在根拠は、収益が主催者の利益のためではなく、公共の利益のために利用される「公益性」にあります。ところが、2025年６月版の「ホッカイドウ競馬のご紹介」というものを見せていただきました。これには、販売促進に関する内容に終始して、目的の記載がないのです。ホッカイドウ競馬の役割をやはり共通認識としてもっと拡げる必要があるのではないかと思うのですけれどもいかがでしょうか。	**（競馬事業室参事）** 公営ギャンブルとしての役割についてでありますが、ホッカイドウ競馬は、地域経済の活性化や雇用の確保、馬産地におけます産業振興に貢献するとともに、事業収益を通じまして、道財政にも寄与しており、公益的な役割を果たしているものと認識しているところでございます。 現在、道のホームページでは、競馬の楽しみ方などを中心に掲載しているところでありますが、今後、道といたしましては、ホッカイドウ競馬が担う公営競馬としての役割などについても、道民の皆様に分かりやすくお伝えできるよう、情報発信のあり方を工夫してまいります。
（五）影響の把握について 競馬を趣味やレジャーとして楽しむ一方、競馬はギャンブルであるがために、社会問題となっているギャンブル依存症・ギャンブル障害を回避することが求められております。公営ギャンブルの健全性とギャンブル依存症による社会的影響に関する見解を伺います。	**（競馬事業室長）** ギャンブル依存症による影響についてでありますが、ホッカイドウ競馬は、単なるギャンブルだけではなく、道財政への寄与を通じて産業振興などの公益的な役割を果たしており、ギャンブル依存症への配慮を十分に行いながら、健全で適正な事業運営を確保していくことが重要です。 近年、競馬は、レジャーや娯楽として多くの方に楽しまれている一方、のめり込み過ぎると多重債務などの経済的困窮や、家庭生活への影響のほか、犯罪などの社会問題につながるおそれがあることから、依存症への予防対策やのめりこみを防止する規制、依存者に対する治療など、ギャンブル依存症対策は社会全体で対応していくべき課題であると認識している。
運営者が責任を持つことが必要です。社会全体で対応することもそうですけれども、運営書の責任は中でも重いと思います。	
（六）ギャンブル依存症対策の取組について **私はかつて、**競馬は宝くじよりも射幸性が低く、馬と親しみ、楽しみながらの趣味だというふうに考えていたのですが、2024年、今から　２年前に作成された「オンライン等によるギャンブル等依存症事例集」というのが発行されておりまして、これを見たところ、11 の事例が紹介されていて、そのほとんどに出てくるのが、競馬何ですよね。これに愕然としまして、実態が極めて深刻であると認識しました。依存症治療に取り組む専門家の先生にも意見を伺ってきたんですが、特に、競馬のインターネットでの馬券の購入が日常化し、ギャンブル依存症の誘因になっているとのことでした。 ホッカイドウ競馬を運営する道は、競馬事業とギャンブル依存症の関係に対して、どのような認識を持ち、競馬事業における予防対策を講じてきたのか伺います。	**（競馬事業室参事）** ギャンブル依存症への対応についてでありますが、道では、ギャンブル依存症は、本人や家族の日常生活に大きな影響を及ぼす社会的な課題であると認識しております。 保健福祉部が作成した「オンライン等によるギャンブル等依存症事例集」において、競馬に関する事例が多く掲載されていることは、関係機関に寄せられた相談事例を基に整理したものと承知をしております。 道としては、ホッカイドウ競馬のホームページやポスター等において、ギャンブル依存症に関する相談窓口を紹介するなど、のめり込みに不安のある方に向けた情報発信や注意喚起を行うとともに、関係機関と連携した依存症予防の取組を実施してきたところでございます。

質　　問　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
（七）ギャンブル依存症対策について そこで、ホッカイドウ競馬のＨＰを見てみました。競馬事業室のギャンブル依存症のサイトにジャンプするということなんですけれども、深く探さないとバナーが見つけられないんです。また、「競馬をお楽しみいただくために（のめり込みに不安のある方へ）」というタイトルで、公営ギャンブルカウンセリングセンターのリンクと、相談予約の受付フォームがあるだけです。ＪＲＡのギャンブル依存症の説明から始まるサイトと比べても、消極的ではないかと考えます。このリンク以外にどのような対策をとっているのか、ＪＲＡはどのように取り組んでいるのか、併せてお聞きします。	**（競馬事業室参事）** ギャンブル依存症対策についてでありますが、道では、ホッカイドウ競馬のホームページにおいて、公営競技ギャンブル依存症カウンセリングセンターへのリンクや予約フォームを設け、相談体制を整備しているほか、競馬場や場外発売所において、ポスターやリーフレットの掲示による注意喚起を行うとともに、入場制限の措置を講じているところです。 また、関係機関と連携し、毎年５月 14 日から 20 日までの啓発週間に合わせた周知や相談窓口の紹介など、ギャンブル依存症の予防や早期の相談につなげる取組を進めているところでございます。 なお、ＪＲＡでは、競馬場や場外発売所ウインズへの入場制限のほか、電話やインターネット投票の利用停止、購入上限額の設定などの対策に取り組んでいると承知をしております。
（八）ネット発売によるギャンブル依存症等リスク等について インターネットでの馬券の売り上げが９割以上ですが、ギャンブル依存症状態となってしまうリスクと対策、実際にそうした状態になっている利用者に関して相談等を把握しているのか伺います。	**（競馬事業室参事）** ギャンブル依存症の事例についてでありますが、インターネットよる馬券の購入は、時間や場所を問わず購入できる利便性がある一方、利用の仕方によっては、ギャンブル依存症につながるおそれがあると認識しております。 このため、全国の地方競馬主催者や地方競馬全国協会では、ネット投票サイトの運営会社に対し、注意喚起を促すとともに、相談窓口の掲載を求めているところです。 また、全国公営競技施行者連絡協議会では、キャンペーンや新規入会時の過度なポイント付与を自主的に規制する取組を行うなど、業界としてギャンブル依存症対策に取り組んでいます。 なお、道ではインターネット利用者に関する個別の相談状況等について把握する仕組みにはなっていませんが、道の窓口に相談があった場合には、真摯に対応してまいります。
ギャンブル依存症につながる恐れがあるという程度ではなく、実際にそういう状態になっている方がたくさんいらっしゃって、相談は一部なんですよね。そして実際、自殺をされたり、家族が自殺をされたり、犯罪に手を染めたり、本当に人生を壊している方がいらっしゃるんです。	
（九）オンライン等によるギャンブル等依存症事例集の活用について ギャンブル等依存症の事例集が競馬場と場外馬券発売所に置かれているというので、「Ａｉｂａ旭川」に行ってみたところ、ポスターは掲示されていたが、事例集は置かれておりませんでした。この事例集のこれまでと今後の活用方法について伺います。 また、「Ａｉｂａ旭川」は、分煙されていたものの、たばが臭い大変気になる状況でした。受動喫煙の防止や来場者の快適な利用環境の確保の観点から、不快に感じる利用者もいるのではないかと懸念するわけですけれども、こうした施設の発売環境について、どのように認識されているのか伺います。	**（競馬事業室参事）** ギャンブル等依存症事例集の活用についてでありますが事例集につきましては、関係機関における理解の促進や、適切な対応につなげることを目的として、競馬場や場外発売所に設置し、活用いただいているところであり、今後とも、必要とするお客様が閲覧できるよう努めてまいります。 また、場外発売所の発売環境については、お客様の声を踏まえ、安心して快適に利用していただけるよう、受動喫煙の防止を図る観点から分煙対策を講じているところでございます。
換気などもして環境を整てもらいたいと思います。	

質　　問　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
（十）事例集のＨＰ等への掲載について この事例集について、全国から評価をされているわけです。ホッカイドウ競馬のＨＰに掲載していただくことはできないでしょうか。	**（競馬事業室参事）** 事例集のＨＰ等への掲載についてでありますが、道としては、今後、関係部局と連携しながら、ホッカイドウ競馬及び農政部競馬事業室のホームページから、ギャンブル等依存症事例集を閲覧できるように対応するなど、競馬ファンに対し、ギャンブル依存症の啓発に努めてまいります。
私の願いはですね、この事例集が必要な方が生まれないように健全に競馬事業を運営していただきたいということなんですが、残念ながら必要な方がたくさんいらっしゃるので、これがＨＰ等へ公開されることは画期的な取組だと評価するところでございます。	
（十一）北海道ギャンブル依存症対策推進会議での役割について 農政部は、ギャンブル依存対策を協議する北海道ギャンブル依存症対策推進会議の構成メンバーでもあります。具体的相談などをもとに、最も有効な対策を講じるべき部局であると考えておりますが、どのような役割を果たしてきたのでしょうか。	**（競馬事業室参事）** 対策推進会議での役割についてでありますが、農政部では、ホッカイドウ競馬を所管する立場から競馬場や場外発売所における場内モニターでのテロップの表示やポスターの掲示、ホームページでの注意喚起の取組に加え、相談窓口における対応など、競馬事業が実施している依存症対策について、他の構成機関と情報を共有するとともに、出席者からの御意見を踏まえ、競馬主催者としてギャンブル依存症の予防対策を一層強化するなど、公営競馬としての役割を果たしてきたところでございます。
公営ですからね、重要な役割を果たしていただきたいと思います。	
（再）ギャンブル依存症の予算について ちなみに伺いたいのですが、ギャンブル依存症予算は農政部でどのくらいになっているのでしょうか。	**（競馬事業室参事）** ギャンブル依存症の予算についてでありますが、競馬事業において、ギャンブル依存症対策としての予算項目は設けておりませんが、ポスターやホームページなどを活用し、注意喚起や相談窓口の紹介などに取り組んでいるところでございます。
先ほどから確認していますけれども、競馬事業には公益性が求められているわけで、予算化してですね、きちんと啓蒙、啓発していってギャンブル依存症になる人を防ぎ、そして楽しんでもらう、競馬を愛してもらう取組が必要だというふうに考えます。	

質　　問　　要　　旨	答　　弁　　要　　旨
（十二）競馬事業に関する相談体制について それとともに、地方財政改善の役割を担っています。しかし、ギャンブル依存症に至る利用者が増えることは、人生も家族も社会の信頼も壊すなど、地域への影響や医療・福祉に新たな負担をもたらすものです。本来の役割と目的に反する事態となっています。脳に障害変化が出る前に、相談して、健全性を保つことは競馬事業に欠かせない取組と考えます。競馬事業の一環として相談窓口の設置状況と相談内容についてお示しください。	**（競馬事業室長）** 依存症に関する相談窓口の設置状況などについてでありますが、ギャンブル依存症への対応は、今後とも競馬事業が公益性や健全性を確保していく上で、重要な課題であると認識しております。 このため、ホッカイドウ競馬では、農政部競馬事業室並びに北海道軽種馬振興公社に「依存症相談窓口」を開設し、相談内容に応じて適切な相談先の紹介を行うこととしているほか、のめり込み防止の観点から、本人や家族からの申し出により競馬場や場外発売所への入場を制限する取組も行っております。 道としては、より一層、関係機関と連携しながら、ギャンブル依存症対策に関する情報提供や啓発に取り組み、競馬事業が健全に実施されるよう努めてまいります。
答弁のように、競馬事業は楽しく、かつ健全であってこそあって事業継続していくことができると考えています	
（十三）今後の取組について 答弁のように、競馬事業は楽しく、かつ健全であってこそあって事業継続していくことができると考えています。運営者の道が、依存症対策に一層取り組んでいくことが求められると考えるわけですが、今日の議論を経て、末然防止の観点から、現状をよく把握し、対策の強化を求めたいと考えますが、部長の見解を伺います。	**（農政部長）** ギャンブル依存症に対する今後の取組についてでございますが、ホッカイドウ競馬は、産業振興はもとより地域経済の活性化に寄与するとともに、そこから得られた収益を通じて道財政にも貢献するなど、公益的な役割を担っており、競馬事業を今後とも継続していく上で、ファンの皆様に競馬を健全に楽しんでいただくことが何よりも重要であると認識しているところでございます。 このため、道では、ギャンブル依存症の未然防止に向けた普及啓発や相談窓口の周知、治療のための医療機関の案内など、関係部局と連携しながら、取組を進めてきたところでございます。 道としては、今後とも、全国の競馬主催者やネット事業者と一層連携を強化しながら、ギャンブル依存症対策に適切に取り組むとともに、競馬の健全な運営はもとより、競馬ファンに愛され続けるホッカイドウ競馬の持続的な発展に努めてまいります。
部長の答弁で終わろうかと思ったのですが、やはりギャンブル依存症対策は重要な課題ですので、知事に直接伺いたいと思いますので、お取りはからいをお願いします。	